

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

大幅黒字なのに手当を減額

許せぬCTS年末手当の低額回答

CTS年末手当回答（12月1日）

- 社員
基本給の2・5カ月。
※年間支給額(4・9ヶ月)で昨年と同額。一昨年(2019年)冬まで支給していた一時金は昨年に続きカット
- 嘱託
基本給に地域手当経過措置分を調整手当に加算した額の2・5カ月、及び一時金として1万円。
※年間支給額(4・9ヶ月)で昨年と同額。
- 契約社員(月100時間以上)
 - ・6カ月未満 無し
 - ・6カ月～1年未満 4万円 + 一時金2・5万円
 - ・1年以上～3年未満 5万円 + 一時金2・5万円
 - ・3年以上～5年未満 7万円 + 一時金2・5万円
 - ・5年以上 12万円 + 一時金2・5万円※一時金は昨年より5000円増額(下記のコロナ慰労金が減額のため、トータルは昨年冬と同額)
※パート社員は一時金が2万円
- 上記支給額とは別に**コロナ慰労金**として全社員を対象に一律5000円を支給
※昨年(1万円)から5000円の減額
- 支払日 12月10日(金)以降、準備でき次第

CTS(JR千葉鉄道サービス)は12月1日、2021年度期末手当について回答を行いました(詳細は別表の通り)。
昨年と比べ、社員の一時金は昨年冬と同額ですが、コロナ慰労金が5千円の減額となっています。契約・パート社員は、一時金が5千円の増額ですが、コロナ慰労金が5千円の減額で、合計で昨年冬と同額となっています。
組合の要求(基本賃金3・8か月分)からほど遠く、コロナ禍で現場を支えてきた現場の労働者を裏切る内容です。

動労千葉は、同一労働同一賃金の観点から契

約・パート社員にも正社員と同じ基準で支給することも求めてきましたが、これまでと同じく賃金格差を固定化する内容となっています。
動労千葉は11月26日に年末一時金についてCTSと団体交渉を行いました。会社からは、清掃作業の削減などでJRからの委託収入は減ったものの、要員削減で人件費も大幅に減り、減収ながらも増益で5400万円の黒字を計上する見込みであることが明らかとなりました。

組合要求どおり年末手当を

JR東日本はコロナ禍における大幅赤字を逆手にとってグループ会社に対して大幅なコスト化と、要員削減を求め続けています。昨年以降、CTSでも人は減る一方で、一人あたりの仕事は増えるばかりです。
CTSで働き続けることのできる賃金、生活できる賃金を獲得するため、声をあげよう。動労千葉に加入し、共に闘おう。